

(宣言日)2026 年 4 月 1 日

## 富士山SDGs推進パートナー宣言書

私たちは、「富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs」を推進する富士宮市とともに、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

団体・事業所名称	株式会社 エフェクト お菓子と珈琲 赤池商店
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 企業（業種：飲食，サービス） <input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人・非営利団体 <input type="checkbox"/> 教育・研究機関 <input type="checkbox"/> その他団体（ ）
代表者職/氏名	赤池 拓
所在地	富士宮市弓沢町924
URL	https://www.akaikeshouten.com/
電話番号	09040824104
メールアドレス	akaikeshoten@gmail.com
反社会的勢力でないことの誓約	<input checked="" type="checkbox"/> 反社会的勢力でなく、反社会的勢力との関わりがない。

## 団体・事業所として2030年（中長期的な）のあるべき姿

2030年の赤池商店は、富士宮の地域資源を極上スイーツに変える「食の地域プロデュース企業」へ進化します。製造販売に留まらず、若手起業家や高校生を現場で育てる実践道場として機能。農業・福祉・教育、観光を繋ぐ持続可能なビジネスでしっかり稼ぎ、地元還元し続ける「次世代が憧れる企業」の新たなモデルを確立します。

## 団体・事業所としてのSDGs達成に向けた特徴的な取組（予定を含む）

当事業所は「産学官福」連携のハブとなり、ビジネスを通じたSDGsを実践します。地域の農地と大手企業の製造副産物を活用した循環型農業で、地元高校生と特産品を栽培。収穫後の加工工程を福祉事業所へ委託して農福連携を実現します。さらに次世代を担う子どもたちへの食育授業や、地方創生人材の起業に向けた実務指導を通じ、持続可能な地域経済の循環を生み出す新たな老舗のモデルを構築します。

## SDGsの各目標に向けた取組内容及び目標

注力するゴール	宣言日から1年後までの取組内容及び目標
地産地消モデルの構築、周知	製造副産物を活用した循環型農業による新商品を完成させ、秋季の地元マルシェ等での販売を通じた地産地消モデルを確立する。
農福連携、人材育成	収穫した農産物の加工工程（殻むき等）を地元の福祉事業所へ業務委託する「農福連携」を実施します。また、地方創生人材（地域おこし協力隊）に対し、商品開発から販売までのプロセスを通じた起業向けの実務指導（OJT）を実施します。
産学官福の連携体制、小学生食育教育	当事業所がハブとなり、「農業・福祉・教育・行政・企業」を巻き込んだ産学官福の連携体制を構築します。プロジェクトを通じて高校生に実践的なビジネス体験を提供し、さらに地元の小学生に向けた食育・キャリア教育の特別授業を展開します。